

第3章 国土交通省の取り組み

1 国土交通省大臣官房とりまとめ分実施事業について

1 - 1 数値地図の整備

(1) 数値地図 25000 (空間データ基盤) の整備の状況

全国の数値地図 25000(空間データ基盤)の整備は平成 12~13 年度に実施しており、当該地区においては、平成 13 年度にその整備を完了した。

(2) 数値地図 25000 (空間データ基盤) の内容

2万5千分1地形図に相当する精度を持つ、道路中心線、鉄道中心線、河川中心線、水涯線、海岸線、行政界、基準点、地名、公共施設、標高の 10 項目のデータを整備している。

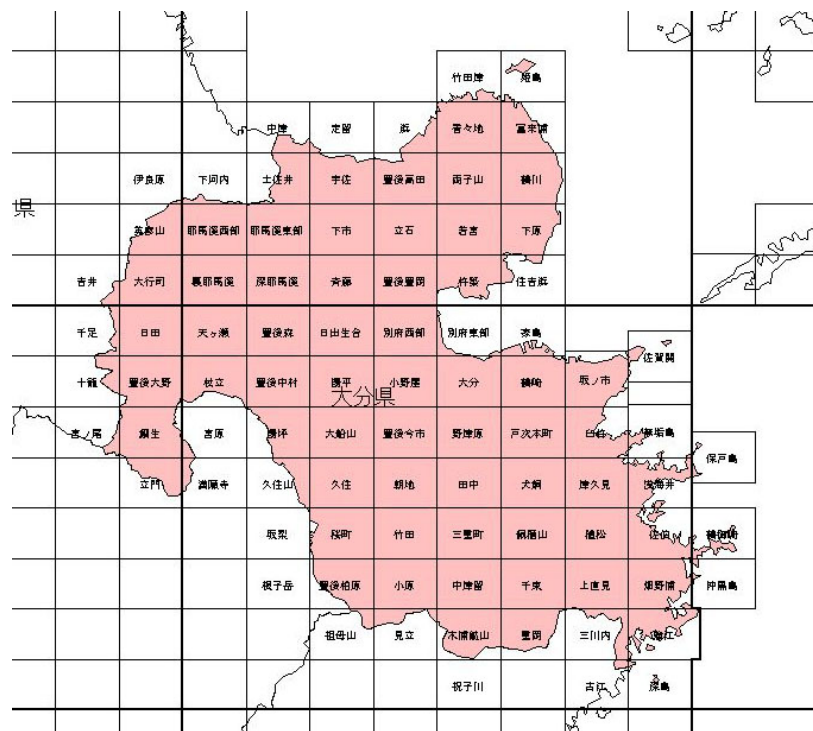
今後は主要地物について、少なくとも年 1 回以上更新することを予定している。

(3) 世界測地系の対応

大分県地区のデータについては世界測地系、日本測地系のどちらにも対応できる。

(4) データ整備範囲

図 3 - 1 - 1 大分県地区 数値地図 25000 整備範囲 (2万5千分1地形図図郭と図名)



(5) 数値地図 25000 (空間データ基盤) の提供

大分県地区のデータは、平成 13 年 10 月に CD-ROM による提供を開始した。また、平成 14 年度中にインターネットによる提供を開始する予定である。なお、CD-ROM に格納されているのは次のとおりである。

・データ

原則として 1 つの都道府県のデータを CD-ROM 1 枚に格納

各市区町村別のファイル

データは地理情報標準に準拠

・メタデータ

データの種類、特性、品質、入手方法等を記述

・応用スキーマ

個々のデータの形式構造を定義した文書

・解凍ソフトウェア

圧縮して格納されているデータを解凍するソフトウェア

・簡易表示ソフトウェア

データを表示するためのソフトウェア

図 3 - 1 - 2 大分県地区 数値地図 25000 (空間データ基盤) 表示例

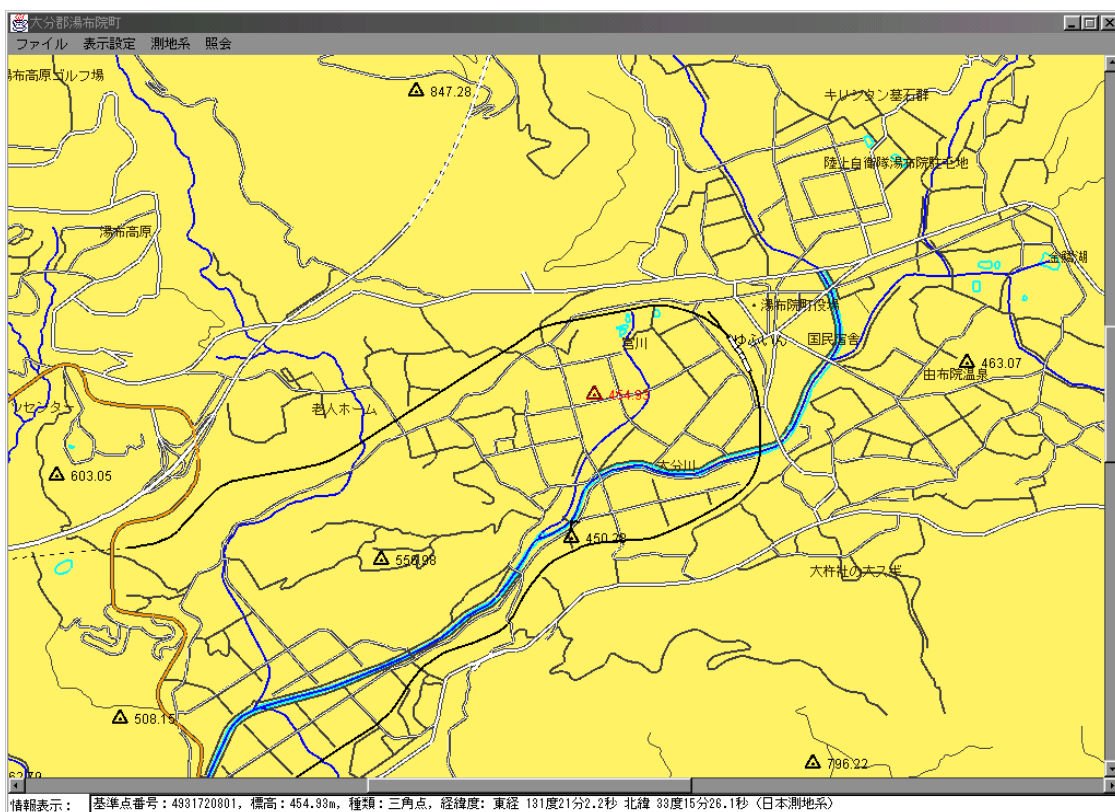


図 3 - 1 - 3 大分県地区 数値地図 25000 (空間データ基盤) データ記述例

